

令和3年度岡崎市障がい者自立支援協議会関係資料

1. ヘルプカードについて【個別支援専門部会】

令和2年度から検討を重ね、令和3年度には地域の方々の御意見をいただきながら改良を続け、「岡崎市ヘルプカード」を作成いたしました。このたび、個別支援専門部会からの「岡崎市ヘルプカード」の運用等に関する施策提言を岡崎市として承認しましたので報告いたします。今後の運用方法及び、周知方法の詳細などは、個別支援専門部会と検討していきます。

なお、事業所へ配布等を行わせていただく際は御協力をお願いいたします。

2. 地域移行支援パンフレットについて【地域移行支援専門部会】

令和3年度、地域移行支援専門部会では「地域移行支援に関するパンフレット」の更新について検討し、令和4年2月25日付けで別添「岡崎市内の障がい児者医療・福祉関係者に向けた普及啓発パンフレット 精神障がい者の地域移行支援の取り組み ～今いちど、地域移行支援について考える～」を作成しました。

○パンフレットの目的

各関係機関の支援の連携に関する意識強化及び、勉強会等への活用

○対象者

地域移行支援に携わる医療・福祉関係者

○令和3年度の取組み

1月25日（火）相談支援事業所部会でパンフレット（案）を活用した勉強会を実施

○今後の活用予定

障がい者基幹相談支援センター等と連携した関係機関向け研修会（勉強会）等の実施

あなたの支援が必要です。

ヘルプカード



おかざきし
岡崎市



ヘルプカードとは…

援助を必要とする人が携帯し、いざというときに必要な支援や配慮を周囲のひとにお願いするためのカードです。

【記入の仕方】

- ☞ 住所…実際に住んでいる住所を記入してください。
- ☞ 血液型…輸血などが必要な場合、重要な情報です。確認しておくとういでしょう。
- ☞ 緊急連絡先…災害時など連絡を取りたい人の情報（裏面も活用してください。）
- ☞ 発作の有無なども書いておきましょう。
- ☞ おくすり手帳を見て普段飲んでいる薬を書いておきましょう。服薬の注意点や飲む頻度も記入しておきましょう。
- ☞ 食べられないものなどを書いておきましょう。
- ☞ 複数ある場合、一番身近な医療機関を書いておきましょう。

配慮してほしいことや手伝って欲しいことを記載しましょう。

フリースペースに自由に記入してください。

（例）

- 私は耳が不自由なので筆談をお願いします。
- 知的障がいがあるので、家族（緊急連絡先）に連絡をお願いします。



オカザえもん&オカザえもんJr.

ヘルプカードは災害時に避難所で提示することなどで、周りの人に自分のことを知ってもらいやすくするツールになります。

パスケースなどに入れて携帯しておくに役立ちます。

キ
リ
ト
リ

キ
リ
ト
リ

ふりがな			
なまえ			
じゅうしょ			
生年月日	年 月 日	血液型	型
緊急連絡先	なまえ 電話番号	(続柄:)	

障がいや病気のなまえ			
くすり	朝・昼・夕 毎食 前・後 錠 薬を飲むときの介助 要 ・ 不要		
アレルギー			
かかりつけ医療機関	なまえ 電話番号		

私は _____ ので
_____ を
お願いします。

【私が手伝って欲しいこと】

カードの持ち主が困っているときや緊急のときは、カードの内側を見てください。

記入日 年 月 日




～ヘルプカード作成にあたって～

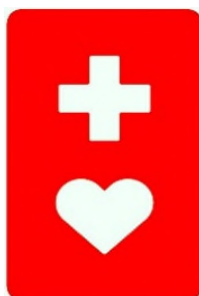
私たちは令和2年度からヘルプカードの作成に取り組みました。障がいのある方が携帯することで、災害時や緊急時に手を貸してくださる方との繋がりをつくる第1歩目のツールになればとの思いで、相談員や防災関係者、地域の方々の意見を聞きながら完成しました。

災害や困難はいつやってくるかわかりません。障がいの有無に関わらず、備える意識を持ってヘルプカードの活用が広がっていったらいいと思います。

岡崎市自立支援協議会個別支援専門部会

必要に応じてチェックを入れてください。 

ヘルプマークと一緒に持ち歩くのがおすすめです！



警戒レベル	行動など
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップなどで、避難時の行動を確認しましょう。
警戒レベル3 高齢者などは 避難	避難に時間がかかるかた（高齢のかた、障がいのあるかた、乳幼児など）とその支援者は避難しましょう。その他のかたは、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル4 全員避難	速やかに避難しましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル5	すでに災害が発生している状況です、命を守るため最善の行動をとりましょう。

緊急連絡先② なまえ	
続柄	
電話番号	
メール アドレス	

緊急連絡先③ なまえ	
続柄	
電話番号	
メール アドレス	

- 耳が不自由です 目が不自由です
- 足が不自由です 知的障がいがあります
- 人工透析をしています
- ペースメーカーを使用しています
- () 発作があります
- パニックになることがあります
理由 ()
- 手話が筆談でお願いします
- 簡単な言葉で説明してください
- 移動の際、介助してください
内容 ()

《メモ》

キ
リ
ト
リ



私の避難所 _____

家族の集合場所 _____

地域移行支援につなげる～関係機関一覧～

精神障がい者の地域移行支援について、気軽に相談できる市内関係機関を紹介します。「誰かがやってくれる」という視点でなく、「自分たちも情報がある」「何かできないか」という考えを共有できる関係になればと願います。

岡崎市障がい者自立支援協議会 地域移行支援専門部会

【精神科病院】

事業所名等	連絡先	備考
京ヶ峰岡田病院	(代)0564-62-1421	窓口:PSW部
三河病院	(代)0564-51-1778	窓口:患者サポート課
羽栗病院	(代)0564-48-2005	窓口:相談員

【行政機関】

事業所名等	連絡先	備考
岡崎市障がい福祉課	0564-23-6853	施策・施策係 給付:審査給付係
岡崎市保健所	0564-23-6715	窓口:健康増進課こころの健康推進係
西尾保健所	0563-56-5241	圏域内連携会議等主催

【相談支援事業所】

事業所名等	連絡先	備考
岡崎市社会福祉協議会相談支援事業所	0564-23-8938	委託相談、地域相談、計画相談
岡崎自立生活センターぴあはうす	0564-26-5080	委託相談、地域相談、計画相談
生活支援センター山中	0564-48-1955	委託相談、地域相談、計画相談
福祉の村相談支援事業所	0564-83-5601	委託相談、地域相談、計画相談
相談支援事業所あちーぶ	0564-47-7408	地域相談、計画相談
相談支援事業所まぶや～	0564-51-1778	地域相談、計画相談
岡崎市障がい者基幹相談支援センター	0564-64-9004	地域移行支援普及啓発、虐待防止センター

※委託相談は担当地区制です。詳細は岡崎市ホームページを確認ください

【その他協力機関】

事業所名等	連絡先	備考
生活訓練事業所あい	0564-48-2749	宿泊型自立訓練(生活訓練)事業所

※令和4年2月25日現在の情報です

岡崎市内の障がい児者医療・福祉関係者に向けた普及啓発パンフレット 精神障がい者の地域移行支援の取り組み

～今いちど、地域移行支援について考える～

精神障がい者の地域移行支援とは？

精神科病院等に長期入院(1年以上)している方の内、病状が比較的安定しており、退院先(家族の支援や福祉的な支援等を受けて暮らしていける環境)があれば退院可能な方へ、退院に向けた様々な支援を提供していく支援のことを「地域移行支援」といいます。

障害者総合支援法では、**相談支援事業所**が提供する個別給付のサービスに「地域移行支援」があります。福祉サービスの「地域移行支援」を活用した支援や、福祉サービスを活用せず、退院支援を行う場合があります。



どうして今、地域移行支援が大切なの？

今までの地域移行支援は、医療機関が中心となり取り組んできた歴史があります。医療機関の「精神科病院から背中を押す(退院)支援」が地域移行支援の中心でした。しかし、現在では精神科病院の「背中を押す(退院)支援」だけでは、退院に結び付かなくなる方が増えています。

国は、数々のモデル事業や検討を行い、平成24年に「地域から引っ張る(退院)支援～地域移行支援～」を制度化し、医療機関だけに頼らず、地域で退院支援が提供できる仕組みを整備しました。「医療・保健・福祉」の連携を必要とする方に、入院中から支援を提供できる画期的な仕組みです。



また、国は個別の退院支援だけでなく、退院支援を通じ必要な社会資源を開発(地域づくり)することも期待しています。そういった取り組みを強化するため、地域移行支援が大切なのです。

精神障がい者の地域移行支援の流れ～医療・保健・福祉の連携～

